

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

事業所名: 夢門塾 浅口

記入者: 道廣・大西・石井・桐岡

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である		4		運動室が利用人数に対して狭い。運動室の面積と利用人数に応じた運動種目の開発が必要。
	②	職員の配置は適切である	4			現在は人員配置に不足はない。
	③	衛生面の管理が行き届いている	4			営業日は必ず消毒・清掃を実施している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	4			正社員は朝のミーティング、パートタイム職員には引継ぎノートの閲覧依頼をしている。毎月、全職員参加の事業所内ミーティングあり。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	4			実施している。
	⑥	自己評価の結果を公開している	4			実施している。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	4			利用者への指導能力を高めるため研修への参加機会を増やしたい。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	4			
	⑨	活動の計画をチームで行っている	4			パート職員を含む事業所全職員が協力している。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	4			ミーティング開催時はもとより、日々の支援の中での創意工夫あり。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	4			
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	1	3		基本的に集団活動であるため、個別活動の機会は少ない。必要に応じて個別対応をしている。利用者特性・対人関係の相性等に配慮した活動グループや配車を実施している。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			正社員は毎朝の打ち合わせあり。パートタイム職員には出勤時に口頭あるいは引継ぎノートにて伝達している。外出の際は、行動範囲が広くなるため事前に担当等、役割分担を綿密に行いたい。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			支援中も特記事項はタイムリーに記録している。また、特記事項については当日不在の職員に対して翌日伝達している。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	4			
⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	4				

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4			月間予定表の配布等、協力的な学校が増加している。また、学校での利用者の様子の教師からの引継ぎあり。ありがたいことに保護者の下校時刻変更連絡忘れを察知して学校側が夢門塾に連絡くださるケースあり。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との情報共有と相互理解に努めている		4		児童発達支援事業所との連携はあるが、保育園・幼稚園・認定こども園との連携の機会はない。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している			4	過去に1名の卒業利用者が就労継続支援始業B型へ移行したが、その際は情報提供の機会なし。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4			利用者が放課後等デイサービスへ移行する際、情報提供を含めた助言の機会あり。相談支援専門員との連携あり。
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	4			送迎時等に家庭や学校生活の様子の聞き取りの機会があり情報共有しながら課題の確認を行っている。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	4			契約時に実施している。また、必要に応じて対応している。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	4			随時対応している。電話・送迎時・コドモンによるメール等で相談が入るため保護者のライフスタイルに対応したパターンで面談の機会を設定している。
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している		4		母親も仕事をしている家庭が大半であり、オープン事業所等の期間を1週間程度設けてもなかなか保護者同士の交流の機会は得られない。日時を狭めると参加できる保護者は更に減少する可能性あり。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			苦情は発生しておらず。日々、苦情が発生しないために保護者への報告や連絡は言葉を選びつつ適切に行うように努力している。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	4			夢だより・ブログの更新等による情報発信を継続している。
	㉗	個人情報に十分注意している	4			個人情報を扱う書類は施錠可能な戸棚に収納している。
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	4			地域で開催される文化祭(展示・一部参加型)に参加した。開業以来、地元の秋祭りの際には町内会の千歳楽を事業所敷地内に招いており、トイレの使用・敷地内での休憩等を提供している。
	非常時などの対応	㉚	緊急対応、防犯、感染症マニュアルを策定し、周知している	4		
㉛		非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	4			複数回の水害想定避難を実施している。今後は地震発生想定避難訓練を実施したい。
㉜		虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			虐待防止の研修に参加している。
㉝		いかなる場合も身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	4			契約時に身体拘束の必要性がある場合についての説明は実施しているが、身体拘束の必要な利用者の在籍なし。
㉞		保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	4			
㉟		ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	2	2		起こりそうになったことは専用の用紙に記入し、職員間で共有していきたい。もう少し記入の機会を増やしたい。

①専業主婦世帯がごく少数であり、多忙な家庭が多いため保護者同士の交流・連携の機会がなかなか設定できていない。事業所見学（夏休み時期に1週間の期間設定をしてオープン事業所を開催）があるが参加者は多いとは言えない状況である。保護者同士の交流・連携については、希望される方・希望されない方の双方があるが、参加希望者のために来年度は通常より早めに案内をすることによりスケジュール調整に配慮したい。またオープン事業所ではなく保護者同士の交流会を開催する計画である。（開催時期はお盆休みの時期を計画予定）

②療育の日課については、障害特性に配慮しながら工夫していく。変更が苦手な利用者への配慮もあり主なタイムスケジュールは固定しているが、運動時間の内容等については、季節や学校行事に連動しながら楽しめるものを提供できるように職員間で協議（毎月1回の全職員参加の事業所ミーティング時）を重ねながら運営する。

③事業所内開催の行事や外出の様子などは、引き続きブログやお便りで分かりやすく伝えていく。

④今後、利用者の放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等への移行が発生することがあれば必要に応じて情報を提供していく。